

修士課程 カリキュラムマップ I (ディプロマポリシーと科目の関係)

建学の精神

1. 福音主義 2. 超教派神学教育 3. 実践的神学教育 4. 世界宣教

教育研究上の目的

プロテスタント・キリスト教の精神に立って、旧約・新約聖書に基づく高度で体系的な神学上の学識・深い霊性と高い倫理性・論理的説明能力・他者との協働による問題解決能力を身につけ、複雑な様相を呈する現代社会に生きる人々に対する深い理解をもって教会を形成し、より良き市民社会の実現のために貢献できる高度専門職業人としての教会教職者を養成することを主要な目的とする。また、将来、本学または他の神学教育機関において神学の教育・研究に携わる神学研究者・教育者の養成もその目的に加える。

ディプロマポリシー

本研究科では、以下に掲げる3つの能力及び専攻に固有の高度な専門知識と研究能力を身につけ、2年以上の在学と所定の30単位以上（研究教育コース修了の場合は同単位数）を履修し、かつ研究指導を受けた上で、修士論文を提出してその審査及び最終試験に合格した者に、修士号(神学)を授与する。

ディプロマポリシーと科目の関係		ディプロマポリシー		
		a. 今日の教会と世界が直面する神学的諸課題について、旧約・新約聖書の原語による解釈とそこから導き出せる原則に基づき、キリスト教の豊かな伝統と今日の状況に照らして分析・統合し、現代に対して意味のある神学を創造的に営む能力。	b. 自らの知見を、他者に説得力をもって伝達するための論理構築をし、表現する能力。	c. 現代の教会と社会において直面する多様な事態に、高い倫理性と品格をもって取り組み、問題解決のために提言するだけでなく、他者を理解し協働する能力。
聖書学	聖書学研究Ⅰ（解釈学）	○	○	○
	聖書学研究Ⅱ（緒論）	○		
	聖書学研究Ⅲ（五書）	◎		○
	聖書学研究Ⅳ（歴史書）	◎		
	聖書学研究Ⅴ（聖文書）	◎		
	聖書学研究Ⅵ（預言書）	○		○
	聖書学研究Ⅶ（旧約釈義）	◎	◎	○
	聖書学研究Ⅷ（福音書）	○		○
	聖書学研究Ⅸ（パウロ書簡）	○		○
	聖書学研究Ⅹ（新約釈義）	◎	◎	◎
神学・教会	神学・教会研究Ⅰ（人間理解とミニストリー）	○	○	○
	神学・教会研究Ⅱ（キリスト教と教育）	○	○	○
	神学・教会研究Ⅲ（キリスト教と心理）	○	○	○
	神学・教会研究Ⅳ（日本の諸宗教とキリスト教）	○	○	◎
	神学・教会研究Ⅴ（キリスト教と女性）	○	○	○
	神学・教会研究Ⅵ（宗教改革史）	○		○
	神学・教会研究Ⅶ（キリスト教の教理形成の歴史）	◎		○
	神学・教会研究Ⅷ（近現代のプロテスタント神学）	○		○
	神学・教会研究Ⅸ（現代における宣教と教会）	○	○	◎
	神学・教会研究Ⅹ（日本キリスト教史）	◎		
研究・演習	神学研究の基礎	○		○
	研究指導A（修士論文）	○	◎	○
	研究指導B（修士プロジェクト:個人）	○	◎	○
	研究指導C（修士プロジェクト:協働）	○	◎	○
	説教演習Ⅰ		○	
	説教演習Ⅱ		○	
	実践神学演習Ⅰ		○	○
	実践神学演習Ⅱ		○	○
	神学インターンシップⅠ(教会実習)	○	○	○
	神学インターンシップⅡ(夏期伝道)	○	○	○
神学インターンシップⅢ(夏期伝道)	○	○	○	

修士課程 カリキュラムマップⅡ（ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーの関係）

建学の精神

1. 福音主義 2. 超教派神学教育 3. 実践的神学教育 4. 世界宣教

教育研究上の目的

プロテスタント・キリスト教の精神に立って、旧約・新約聖書に基づく高度で体系的な神学上の学識・深い霊性と高い倫理性・論理的説明能力・他者との協働による問題解決能力を身につけ、複雑な様相を呈する現代社会に生きる人々に対する深い理解をもって教会を形成し、より良き市民社会の実現のために貢献できる高度専門職業人としての教会教職者を養成することを主要な目的とする。また、将来、本学または他の神学教育機関において神学の教育・研究に携わる神学研究者・教育者の養成もその目的に加える。

ディプロマポリシー

本研究科では、以下に掲げる3つの能力及び専攻に固有の高度な専門知識と研究能力を身につけ、2年以上の在学と所定の30単位以上（研究教育コース修了の場合は同単位数）を履修し、かつ研究指導を受けた上で、修士論文を提出してその審査及び最終試験に合格した者に、修士号(神学)を授与する。

		ディプロマポリシー		
		a. 今日の教会と世界が直面する神学的諸課題について、旧約・新約聖書の原語による解釈とそこから導き出せる原則に基づき、キリスト教の豊かな伝統と今日の状況に照らして分析・統合し、現代に対して意味のある神学を創造的に営む能力。	b. 自らの知見を、他者に説得力をもって伝達するための論理構築をし、表現する能力。	c. 現代の教会と社会において直面する多様な事態に、高い倫理性と品格をもって取組み、問題解決のために提言するだけでなく、他者を理解し協働する能力。
ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーの関係				
カリキュラムポリシー	a. 研究科神学専攻の下、「聖書学」領域と「神学・教会」領域を設置し、両領域から必修科目・選択科目をバランスよく配置することにより、神学に関する高度で体系的な実践的知識を身につけさせることを目的とする。	◎	○	○
	b. 基幹科目群による体系的な神学理解に基づき、学生が選択した分野について修士論文を書き上げるために、高度な専門知識と研究能力を深めることのできる専門科目群を設置する。	○	◎	○
	c. 研究指導の一環として初年度第1学期に、神学研究の基礎を全学生に教授し、研究分野に焦点を絞る前の、総合的な神学研究への導入を行う	○	○	○
	d. 「神学・教会」領域の実践的適用性を重視する諸科目と合わせて、説教と実践神学に関する演習科目において、神学の専門知識を実践に応用する能力及び教会教職者としての倫理性の涵養を目指す。	○	◎	◎
	e. 神学研究科神学専攻（博士前期課程）においては、その養成する人材像に基づき、教会教職コースと神学研究者・教育者コースの3コースを設け、履修の指針とする。		○	○